

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会 感染症解析評価部会]
(平成13年2月解析分)

1 疾患別定点情報

定点把握(週報)四類感染症

平成13年2月分(1月29日~2月25日:4週間分)

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	576	1.21	20.79	↑	12	麻疹	57	0.19	0.11	↗
2	咽頭結膜熱	41	0.14	0.05	↗	13	流行性耳下腺炎	327	1.09	0.67	↘
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	434	1.45	-	↘	14	急性出血性結膜炎	0	-	0.05	
4	感染性胃腸炎	3,916	13.05	5.97	↘	15	流行性角結膜炎	72	0.90	0.92	↘
5	水痘	576	1.92	1.67	↘	16	急性脳炎	0	-	-	
6	手足口病	30	0.10	0.09	↘	17	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.02	
7	伝染性紅斑	91	0.30	0.16	↘	18	無菌性髄膜炎	4	0.05	0.17	
8	突発性発疹	236	0.79	0.57	↘	19	マイコプラズマ肺炎	12	0.14	-	
9	百日咳	5	0.02	0.03		20	クラミジア肺炎	0	0.00	-	
10	風疹	9	0.03	0.48		21	成人麻疹	0	0.00	-	
11	ヘルパンギーナ	16	0.05	0.02	↘	「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)					

急増減	増減	微増減	横ばい
↑	↗	↘	↔
↓	↘	↗	
前月と比較しておおむね1:2以上の増減	前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし(発生件数少数のものを含む)

定点について

定点情報は、定点把握対象の四類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について、県内186の定点医療機関からの報告を集計して作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD 定点	基幹定点	合計
対象疾患 No.	1	1~13	14, 15	22~25	16~21, 26~28	
定点数	44	75	20	26	21	186

この情報は、「<http://www.pref.hiroshima.jp/fukushi/kenkou/kansen/index.html>」のホームページに掲載しています。
全国情報については、「<http://idsc.nih.go.jp/>」に
インフルエンザホームページは、「<http://influenza-mhw.sfc.wide.ad.jp/>」に掲載されています。

疾患 No	疾患名	月間発 生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号	疾患 No	疾患名	月間発 生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号
22	性器クラミジア感 染症	58	2.23	1.47	⇒	26	メチシリン耐性黄 色ブドウ球菌感染	117	5.57	-	⇒
23	性器ヘルペスウイ ルス感染症	14	0.54	0.62		27	ペリシリン耐性肺 炎球菌感染症	34	1.62	-	⇒
24	尖圭コンジローム	20	0.77	0.25	⇒	28	薬剤耐性緑膿菌感 染症	7	0.33	-	
25	淋菌感染症	26	1.00	0.79	⇒	「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均 (定点当り)					

インフルエンザ 急増（1月160件 2月576件）

2 一類・二類・三類感染症及び全数把握四類感染症発生状況

一類感染症 発生なし

二類感染症 発生なし

三類感染症（腸管出血性大腸菌感染症） 2件発生（福山市2件）

全数把握四類感染症 3件発生（急性ウイルス性肝炎2件，後天性免疫不全症候群1件）

3 インフルエンザの予防について

・今冬のインフルエンザの発生状況

今冬はインフルエンザの流行が遅く，12月（12月4日～31日）分の報告件数は，県内で7
全国が5，385件）と昨年12月（12月6日～1月2日 県内637件，全国37，846件
比較して少なくなっています。

しかし，例年1月下旬から大流行しているため，次のことに気をつけて予防しましょう。

インフルエンザ かかる前に予防 こじらす前に治療！

インフルエンザの予防について

1 予防接種

ワクチン接種により，インフルエンザにかかりにくくなり，かかっても症状が重
くならないようにする効果があります。

2 日常生活における予防対策

帰宅後の手洗い，うがいを励行する。

外出の際は，マスクを着用し，人混みを避ける。

室内は湿気のある程度保ち，時々室内の換気を行う。

体力が低下しないよう，栄養，睡眠を十分にとり，適度な運動をする。

3 その他の留意事項

インフルエンザかなと思ったら，安静にして，早めに医療機関を受診する。

病院や高齢者が入所している施設では，施設内の入院・入所者に感染させないよ
うに，職員や面会者は注意する。

乳児等は，できるだけ，多数の人が集まる所には連れて行かないようにする。

高齢者は発熱・頭痛などの症状があまり出ない場合もあるが，長引くと肺炎など
重症になる可能性があるため，家族や周りの人も十分気をつける。